

街角ニュース

◇バトカーから呼び掛け

秋の全国交通安全運動に合わせて、北区の楠西小学校の児童がバトカーから近隣住民に交通安全を呼び掛けた。

4年生51人と北署員らが参加した。4人1組でバトカーの助手席や後部座席に乗り込み、学校周辺を一周=写真。「歩きスマホは車



故につながるのでやめましょう」「家を出る時は必ず鍵をかけましょう」などと自分たちで考えたメッセージを呼び掛けた。

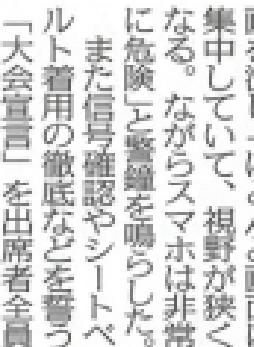
自転車の正しい乗り方教室も実施。署員からヘルメットをかぶるよう教わった。

◇千種区で決起大会 千

種区交通安全区民総決起大会が21日、千種区役所であり、140人が事故防止への思いを強めた。

「ながらスマホ」の危険性を研究している整知工科大の小塚一宏名誉教授が講演。歩きスマホをした時の視線の動きを調べた実験動画を流し、「ほとんど画面に集中していて、視野が狭くなる。ながらスマホは非常に危険」と警鐘を鳴らした。

また信号確認やシートベルト着用の徹底などを誓う「大会宣言」を出席者全員



で読み上げた。

◇反射材手渡す

秋の全国交通安全運動に合わせ、中区の衆善会保育園児たちが21日、同区のエンゼルパーク松坂屋連絡通路で交通安全のお守りを配った。

園児24人と中署員らが参加し、一時停止などの道路標識を横し、反射材を使ったストラップ500個を用意した。

園児たちは3列に並び「こうつうあんぜん」と書かれた黄色いたすきを付けてアピール=写真。買い物



客らにストラップを配りながら、交通事故の防止を呼び掛けた。

◇保育園児が交通安全お

守り配布 中村区の日吉保育園児51人が19日、園近くの路上を走るドライバーに、手作りの交通安全のお守りを配った。

赤色や黄色などの折り紙をだるまのような形に折り込み、「交通安全」と書かれたシールを貼って仕上げた。信号待ちで停車してくる車に交通指導員と一緒に近づき、ドライバーに手渡した。信号待ちで停車して安全運転を呼び掛けた=写真(中村署提供)。